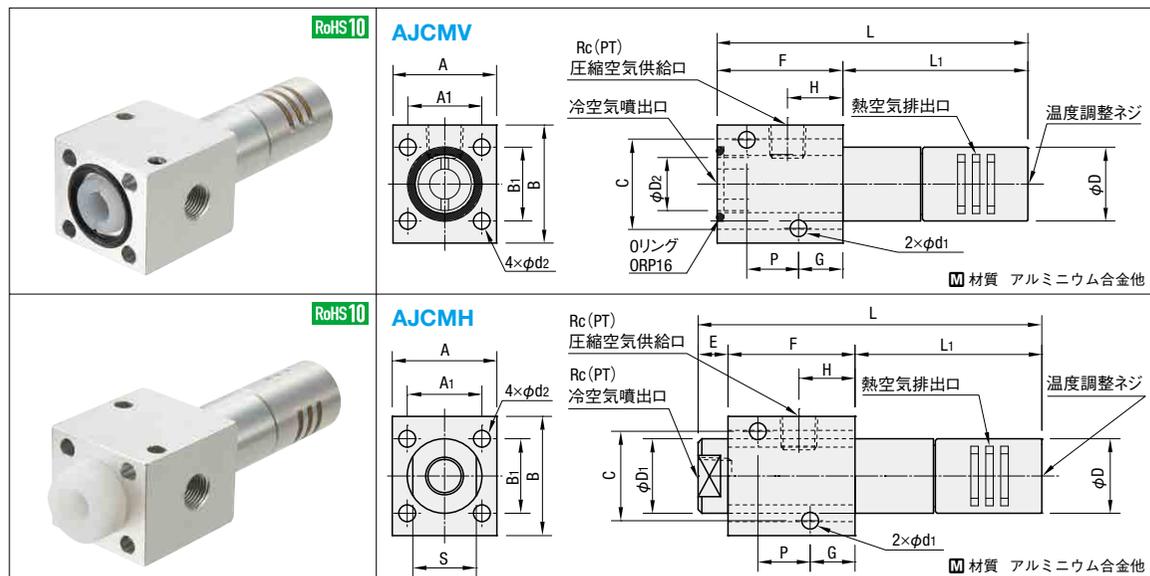


金型冷却用エアジェットクーラ

コンパクトタイプ



共通													Rc(PT)	AJCMV	AJCMH	型式					
L1	F	H	G	P	C	d1	d2	D	A	A1	B	B1		D2	L	E	D1	S	L	TYPE	No.
50	34	15	12	14	24	4.5	4.5	20	28	20	32	20	1/8	14.4	84	-	-	-	-	AJCMV	150
														-	-	8	20	17	92	AJCMH	150
106	52	23	18	24	36	6.6	5.5	32	40	30	46	30	3/8	-	-	12	30	26	170	AJCMH	600

Order 注文例 **型式 AJCMV150**

Delivery 出荷日 **在庫品**

■特長

- 圧縮空気を供給するだけで、入気温度に対して最大温度差 -67℃ (No.150は-55℃) の冷気を発生します。
- 水冷では冷却できない細穴や水漏れが心配な箇所を効率よく冷やし、サイクルタイムの向上に効果があります。
- 成形品の局所的な冷却に効果があります。

■使用方法

- 使用圧力0.3~0.7MPaの範囲で使用ください。
- エアドライヤにより乾燥した空気を供給し、エアフィルタ(濾過度40μm以下)とオイルミストセパレータを設け異物の混入を防いでください。
- 冷空気噴出口から金型を冷却したエアは大気中に開放させてください。(開放させないと冷空気が出なくなります。)
- 熱排出口より熱風が出るため火傷に充分ご注意ください。

■故障と修理について

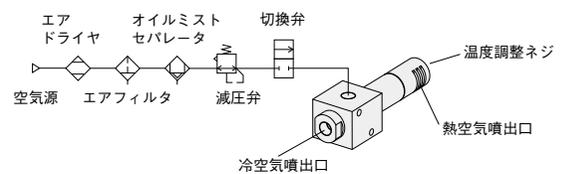
- 冷却効果が悪くなったときは、以下の順序で点検してください。
 - 温度調節ネジを再調整してください。
 - フィルタおよびミストセパレータが目詰まりして供給圧力が低下していないか点検してください。
 - 右図の消費空気量が十分に供給されているかご確認ください。
- 分解されたものに関しては責任を負いかねますのでご了承ください。

■冷風温度調整法

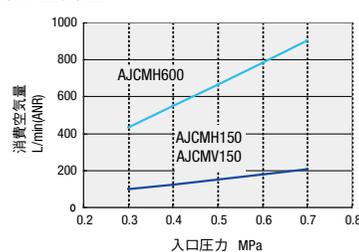
本体端部にある温度調整ネジで調整してください。

緩める：冷風温度が下がり、冷風量が減少します。

締める：冷風温度が上がり、冷風量が増加します。

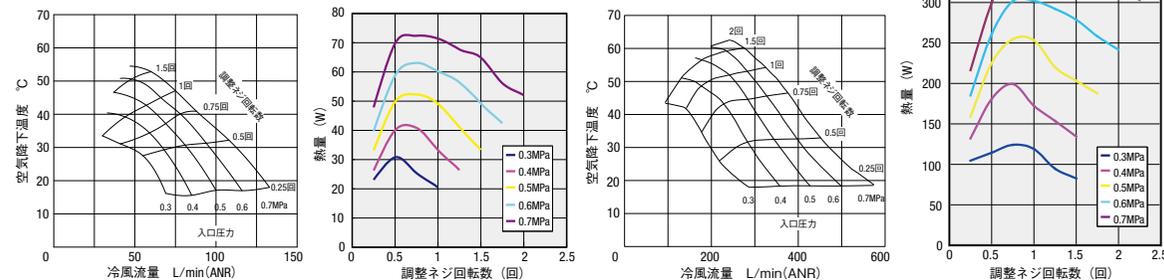


■消費空気量



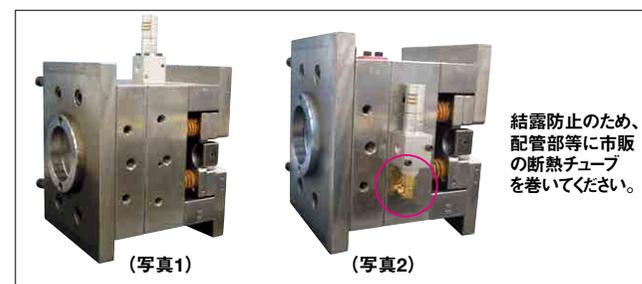
■温度・熱量特性

- 空気降下温度は、入り口空気温度に対する降下温度です。
- 調整ネジ回転数の値は、調整ネジを締め切った状態が0回です。
- 下記グラフは、エアジェットクーラ単体の特性を示したものです。
- 熱量(W)は冷空気出口より噴出される冷気により、冷却対象物から奪うことのできる仕事率です。1W=0.86kcal/h



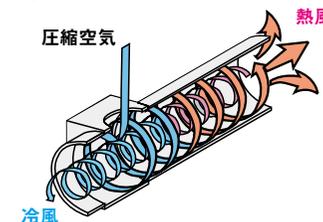
■取り付け方法例

- AJCMVの時・・・金型側面にネジ止めて、冷気を直接流入します。(写真1)
- AJCMHの時・・・金型側面に配置し、配管材等を使用して冷気を流入します。(写真2)

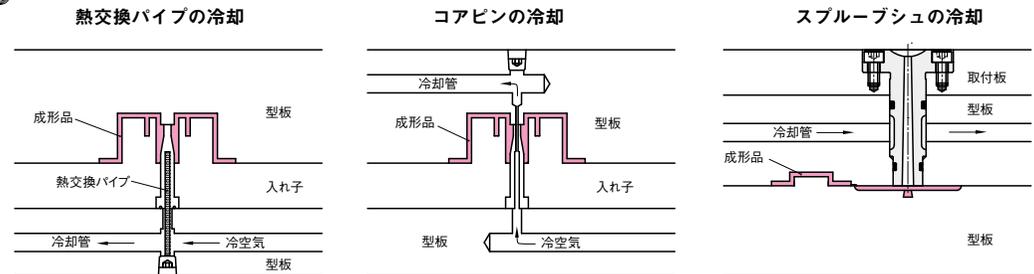


■解説

冷空気取出しの原理
渦動理論を応用したものであり、下記模式図に示すとおり、本装置に送られた圧縮空気は装置内で強制的に高速回転運動され、熱風と冷風に分離される現象が発生します。これを利用して冷風のみを導くことができるのです。



■Example 使用例



■エアジェットクーラ周辺部品

■低温用継手

ストレート
M-NSC P995
M-NKC

L形
M-NSL P995
M-NKL

ネジ変換ジョイント
JEMM P1013
JEMMR

L形ネジ変換ジョイント
JEFL P1015
JEFLR

■温水用チューブ

M-SFT P999

M 材質 ふっ素樹脂
使用温度範囲 -65~180℃